資料２

警察庁報告資料

令和２年10月

生活安全局生活経済対策管理官

令 和 ２ 年 １０ 月
警察庁生活安全局
生活経済対策管理官

令和元年中における食品の産地等偽装表示事犯の検挙状況について

１　食品の産地等偽装表示事犯の検挙状況

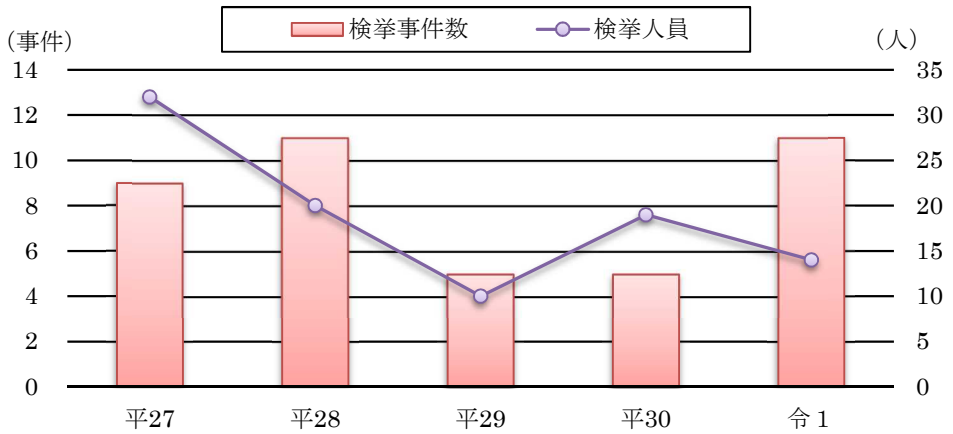
令和元年中における食品の産地等偽装表示事犯の検挙事件数は 11 事件、検挙人員は 14 人、検挙法人は 11 法人であった。

２　主な検挙事例

○　食用油製造販売会社の代表取締役らが、国産ごまに外国産ごまを混ぜて製造したごま加工品に「原料原産地名鹿児島県」等と表示し、複数の取引先に販売譲渡した不正競争防止法違反で、１法人５人を検挙した（鹿児島）。

○　団体役員らが、ふるさと応援寄附金の返礼品として、岩手県八幡平市産でない松茸を梱包した箱に「岩手県八幡平市産」等と印字した送り状を貼付し、商品の原産地を誤認させるような表示をするとともに、その表示した松茸を 39 人に譲渡した不正競争防止法違反で、１法人２人を検挙した（岩手）。

【参考】食品の産地等偽装表示の検挙状況の推移（過去５年）



	平 27	平 28	平 29	平 30	令 1
検挙事件数	9	11	5	5	11
検挙人員	32	20	10	19	14
検挙法人数	7	6	3	5	11